臺灣日日新報

本日四頁

大敵を邀へ敢然反撃

皇軍の眞髓遺憾なく發揮

感状上聞に達す

ブナ及びバサブア兩守備部隊

陸軍省發表（昭和十九年二月十二日十六時）昭和十七年末ニューギニア島スタンレー山脈よりの我軍反轉作戰に當り寡兵克く彼方基地を死守し偉勳を奏でたるブナ守備隊及バサブア守備部隊に對し夫々軍司令官より感状を授與せられしが今回畏くも上聞に達せられたり

感状

ブナ守備部隊

（山本大佐の指揮する陸軍部隊及海軍部隊の一部を基幹とする部隊）

右は昭和十七年十一月十八日より昭和十八年一月二日に至る間山本大佐統率の下にブナ地區の守備に任じ同地海軍部隊と一致協力米濠軍の包圍攻撃に對抗し屢々有力なる反撃を加へ日夜熾烈なる銃爆撃及砲撃に堪へ又猛烈なる敵戰車の攻撃等に對し全員極めて旺盛なる士氣を以て長時日に亘り頑強敵を阻止し其の大部死傷するに至るも克く其の任務を遂行し軍の作戰に寄與せる所甚大にして其の堅忍不拔且積極果敢決死的敢闘は皇軍の眞髓を發揮せるものにして全軍の模範たり

仍て茲に感状を授與す

昭和十八年二月十一日

軍司令官

感状

バサブア守備部隊

（山本部隊及同海軍部隊）

右は昭和十七年十一月五日より十二月七日に至る間山本少佐指揮下バサブア上陸點の確保に任ぜしめらるるや優勢なる敵に對し病兵及軍夫等の集成部隊を以て屢々果敢なる反撃を行ひ其の陣地を堅持しありしが、終に小地域に於て包圍攻撃を受け連日敵飛行機の熾烈なる銃爆撃及敵砲兵並迫撃砲の晝夜不斷の集中火を被り死傷續出、陣地殆んど破壊せられ悲惨極りなき狀況に至れるも全員一致團結、最後の一員に至る迄力戰奮闘陣地の確保に努め二回に亘り我後續部隊の上陸を掩護し爾後の作戰を容易ならしめたり、斯くの如きは劣勢なる兵力を以て敵の優勢なる兵力及物資的威力に對し遺憾なく皇軍の本領を發揮せるものにして全軍の模範たり

仍て茲に感状を授與す

昭和十八年二月十一日

軍司令官

芬蘭政府連日閣議

【ストックホルム十日發同盟】ヘルシンキ來電によればフインランド政府は八日夜以來連日閣議を開き重要問題を審議してゐると傳へられる

高砂義勇隊も勇戰

兩守備部隊の死闘經過

【東京電】ブナ及びバサブアを死守、有力なる敵の攻撃を支へ偉勳を建てた山本重省大佐、山本常一少佐の指揮する守備部隊の戰闘經過は左の如くである

一般概況

一昨年オーエンスタンレーの嶮を越えポートモレスビーを指呼の間に望んだニューギニア方面の皇軍も後方からの補給が續かず遂に命によつてギルワ方面に反轉十一月中旬頃その主力はギルワ附近に集結した、ブナ飛行場は當時ニューギニアに於ける重要拠點で僅少の我が守備部隊によつて守備されてゐた、バサブア附近は當時後方部隊の一部によつて守備されてゐた、敵はスタンレー山系方面から豪洲軍一個師團が我が追尾し、その先頭は兩ギルワの我が第一線と接觸を開始してをり、ブナ方面においては米軍一個師團が上陸中であった

ブナ守備部隊死闘經過

十一月十六日朝來米軍輸送船はブナ南東約十キロ附近に上陸を開始したので軍司令官は直ちに田中部隊、[illegible]部隊、[illegible]部隊の一部及小池大尉の指揮する山本部隊、[illegible]一千名を山本重省大佐（部隊長として赴任の途中）をして指揮せしめ[illegible]、ブナを救援せしめた、山本大佐の指揮する部隊は十七日夜陸の[illegible]を排除してバサブアに上陸し直ちにブナに急行した、十九日山本大佐の指揮する部隊が到着するに及んで我方は優勢なる米軍と飛行場東方で[illegible]交へこれに大損害を與へたが敵は逐次増加し遂にこれを[illegible]するに至らず陣地は[illegible]に入つた、優勢なる敵は有力なる[illegible]部隊[illegible]の下に[illegible]して来たが、我軍は大なる損害を與へて悉くこれを撃退、ブナ地區確保に力めた、十二月初頭から十五日頃は依然[illegible]の下に連日執拗な攻撃を繰返した、しかるに二十五日以來敵はワソタ、ブナ兩方面に攻撃の重點を變へ、有力な敵は我が右翼に迫り同方面の危急を告げるに至つたので左翼方面の陣地を縮少して飛行場中央を第一線とし兵力を節約してこれを右翼に集結せしめ、ブナ部落方面は[illegible]少佐に指揮せしめ、山本大佐は左翼飛行場西端附近に移り陣地の確保を圖つた、この間敵は夜襲を敢行し我に大打撃を與へたが、我方の損害も續出し、各隊長は殆ど戰死を遂げつゝ[illegible]に立ち至つた、二十八日早朝敵は我が中央地區から陣地の間隙に突入して來た、我方は兵力これが撃退に力めたが、遂に反撃兵力盡きて兩地區を分斷せられた、當時の我が[illegible]は約二百五十名で銃火器、火砲は悉く破壊せられるに至つた、山本大佐は陣地をめぐらし死力を盡して奮戰したが、[illegible]を如何ともなし得ず見るや最後の突撃を[illegible]に決行した[illegible]共に一月二日[illegible]手兵を提げて敵陣に突入、[illegible]の戰果を擧げた、又ブナ部落方面の指揮に當つてゐた[illegible]少佐も同日[illegible]

バサブア守備部隊戰闘經過

バサブア附近警備の[illegible]により十一月十六日臨時[illegible]○○隊長山本常一少佐の指揮する内田隊（兩ギルワ兵站病院入院患者中比較的元氣な者、内田中尉以下約二百名）中村隊（中村中尉以下兵約六十名）[illegible]（森田中尉以下三十名）計約三百九十名の部隊は兩ギルワからバサブアに急行した、同部隊は十七日バサブアに到着直ちに部隊を配備した、二十一日敵は當地[illegible]に接近[illegible]、我方の出撃によつて敵は後退した、夜に入つて[illegible]たる山本部隊中[illegible]以下は[illegible]に上陸に成功、我が守備隊はこれが上陸掩護の任務を果し[illegible]、[illegible]以下六十四名がギルワより[illegible]のため到着、直ちに主力を第一線の[illegible]に使用した、十九日頃[illegible]上陸部隊[illegible]と[illegible]して攻撃を敢行[illegible]以下八十名がギルワから來援、これを[illegible]の左側背に[illegible]せしめると共に主力方面より猛烈な反撃を加へた、二十三日[illegible]を共に[illegible]を敢行[illegible]十數名を出した、二十四日[illegible]以上となつたが、更に[illegible]一個中隊が現はれその集中砲撃を浴び我方の損害[illegible]、兵器の損耗も[illegible]したが、この日までに我方の死傷者は[illegible]

敵機を邀撃する我が戰闘機隊

（翼をひいて落ち行くのはP38）＝陸軍省檢閲濟

指揮系統は大混亂

マウントバッテン作戰の拙劣さ暴露

【ビルマ前線○○十二日特派員發】ブチドン前面における英第七師團包圍殲滅戰はブチドンよりマユ山脈を縱斷して○○に至る自動車道路の中間切斷とモンドウから○○を經て○○方面に通ずる交通線の要衝○○の占領によつて愈々決戰を以て展開され、上空は頑強なる我が地上部隊の攻撃と緊密な協力の下に敵を壓倒しつゝ戰果を擴大中である、一方我が包圍によつて大混亂を來し、我が包圍殲滅の運命を待つ敗殘部隊に對して僅かに空中よりする物資投下を行つてゐるのみで何等なす術を知らず極度の狼狽振りを示してゐる、[illegible]方面の戰況に際しては一切[illegible]の感能をとつてゐた敵もビルマ進攻企圖を完全に制せられた英印軍の指揮系統はこれによつて[illegible]四日午前九時、占領された地點については七日に至り漸く「豫定の退却である」と申譯的に發表したが、モンドウ、コックスバザー陸路交通線の要衝○○の占領に對しては「全く不意を衝かれた」と日本軍の奇襲を衝く作戰の巧妙さを率直に認めマウントバッテン作戰の拙劣さを加飾に[illegible]してゐる

ガンジス三角洲を襲ふ

【ペナン十二日發同盟】帝國海軍航空部隊は十一日未明[illegible]インド洋に翼を伸ばしカルカッタ方面を攻撃、カルカッタ下流のガンジス河三角洲附近で敵大型輸送船一隻を撃破大破せしめ無事歸還した

海鷲連日出撃の戰果

【南太平洋方面○○基地十二日發同盟】ラバウルに基地して連日來襲する敵機を邀撃してその度これを擊退活躍してゐる帝國海軍航空部隊は一方ニューギニア島及びトロキナ方面にも連續出撃して敵基地並ひに輸送船舶を攻撃して赫々たる戰果を擧げてゐる、即ち九日夜トロキナ岬附近の敵飛行場を攻撃、越えて十日未明モノ島敵飛行場を急襲して全彈を命中これを炎上、更に同日午後ニューギニア島フインシハーヘン沖の敵輸送船團を攻撃し大型輸送船一隻を擊破した、續いて十一日未明クレチン岬方面の敵輸送船團を攻撃して小型輸送船一隻を擊破炎上、大型輸送船二隻を擊破、小型舟艇四隻を擊沈、更にボルゲン灣方面の敵地上部隊を攻撃して二箇所を爆破炎上、またトロキナ岬方面の敵飛行場並上陸地に對し熾烈なる銃爆撃を加へ[illegible]を目して炎上、滑走路などを爆破した、何れもわが方全機無事歸還した

堂々進撃の我友軍

鳴を潜めて敗走する敵

それらしきものが俯瞰され、なんとなく[illegible]する敵の氣配が感じられ出した、○○に進入直前から猛烈した地上火器が我が編隊を砲擊したが、いづれも遙かの[illegible]に白[illegible]を散らすのみ最早[illegible]の気を感じられず全面的敗色濃ひ切れぬ有樣だつた、○○河の支流に臨む○○は小山に[illegible]されて林木に[illegible]てはゐるが、これにも攻撃を冷し[illegible]れは友軍だつたのだ、[illegible]間に一瞬聞然も[illegible]正面の敵を破つてゐるが、それもその筈なんと上○○地點には意外な活況が[illegible]られた、そして○○附近を更に北[illegible]きつてゐるのが手にとる樣に眺めのがよく見えた、わが編隊に氣え[illegible]船二隻が白波を[illegible]つて下航するであらう、町の舟上流に二千噸級た敵めがわんさと[illegible]めいてゐるの[illegible]てこの[illegible]振りはどうだ、モンウ沖テクナーフ更にナーフ河口も敗兵收容船らしき五、百噸及二千噸級五、六隻が往來してゐる

陸鷲部隊長に聽く

ビルマの空の進軍譜

【ビルマ○○基地發同盟】我語したビルマ[illegible]は[illegible]も果かなき[illegible]と消えて英第二師團を今ぞ[illegible]に殲滅するのだ、これ程の大[illegible]があらうか十日[illegible]の[illegible]を[illegible]ひて[illegible]路を一路[illegible]し文字通り[illegible]への[illegible]の子の軍[illegible]を[illegible]して[illegible]の決定[illegible]に[illegible]んだビルマの[illegible]長○○部隊長に聞く『第二のアラカンの[illegible]の[illegible]である○○千と云へば[illegible]がマッチ[illegible]くらいにしか見えぬ[illegible]の[illegible]はつきり見える[illegible]はないが、それでも○○河を[illegible]へると[illegible]らしい[illegible]が感じられ[illegible]な[illegible]い[illegible]の[illegible]の飛行[illegible]地らしいものがあちこちに[illegible]、いづれもひつそりと[illegible]へつてゐた、勿論この[illegible]はとつくに[illegible]が引き下つた[illegible]なのだ、マユ山系の[illegible]にある[illegible]い丘陵地帶を北上する[illegible]は正しく[illegible]と見えた、[illegible]

敵機八を擊墜

ブチドン、モンドウ爆擊

【ビルマ○○基地十二日發同盟】敗走を追つて連日連夜の爆擊を續けるビルマ方面陸軍航空部隊は八日に引續き九日朝[illegible]下[illegible]及[illegible]を連合○○機の大編隊を以てブチドン、モンドウ地區上空に進攻、急降下[illegible]敵[illegible]の[illegible]○○に[illegible]する[illegible]約五十[illegible]を[illegible]し、[illegible]急降下[illegible]を行ひ大損害[illegible]に陷らしめたが、更に[illegible]は[illegible]を試みる[illegible]と交戰果敢なる空中戰を展開、ハリケーン三機、スピットファイヤー五機計八機を擊墜の大戰果を擧げた、我方も亦この日の戰鬪により自爆二機の尊い犠牲を出した

ボウリバザーも強襲

軍橋爆破敵退路を遮斷

【ビルマ○○基地十二日發同盟】ビルマ方面陸軍航空部隊の精鋭は十日午前[illegible]の大編隊を以てマユ山系[illegible]の[illegible]ボウリバザー[illegible]攻撃[illegible]と共に[illegible]空に進入する[illegible]と共に[illegible]軍事施設を火焰に包み[illegible]を[illegible]し[illegible]を[illegible]した[illegible]の[illegible]に際し○○河上空に[illegible]し來つた[illegible]スピットファイヤー五機は我が[illegible]の[illegible]を見て一機も交へず逃走した

マ諸島に反攻熾烈

わが守備部隊悉く擊退

【中部太平洋方面○○基地十二日發同盟】マーシャル諸島方面に[illegible]する敵の[illegible]はいよいよ熾烈となつてゐるが、わが守備部隊は何れもこれを擊退してゐる、即ち十[illegible]夜間ロエラップ環礁タロア島にコンソリデーテットB[illegible]機が來襲し、わが陣地並びに[illegible]が[illegible]し、わが[illegible]に[illegible]が、わが守備部隊はこれと交戰[illegible]擊退した、わが方の損害は[illegible]

ボース首班獅子吼

アラカン作戰記念民衆大會

【ビルマ○○十一日發同盟】インド國民軍の進撃開始に湧き立つビルマ在住インド人は十一日午後ボース首班を迎へてアラカン作戰記念民衆大會を開催し、席上ボース首班は左の如く演說した

われわれは最後の勝利の最初の日に[illegible]つた、國民インド軍の[illegible]への[illegible]は今アラカンの[illegible]に展開してゐる、われわれはこの事實に目覺め新たなる[illegible]が[illegible]るべきすべてのインド人が[illegible]を[illegible]し、[illegible]を[illegible]するべく[illegible]をもつて[illegible]ひを[illegible]け、われわれの[illegible]の[illegible]ために[illegible]な[illegible]をせねばならない、われわれにもう一つの覺悟をせねばならないことがある、それはインド內に入つて最後の目的を[illegible]することであり、そのためにわれわれの手で自ら[illegible]への進軍を[illegible]にすることである

國産原料のアルミナ價格

【東京電】[illegible]は國産原料によるアルミナに[illegible]し新價格を設定することゝなり十二日の[illegible]で左の通り決定した

一、國產原料によるアルミナ價格に關する件

[illegible]ボーキサイト[illegible]

帝國と亞國の利益代表決定

【東京電】アルゼンチンの對日國交斷絶に伴ひ今般スイスがアルゼンチンにおける帝國の利益を代表し又アルゼンチンの帝國における利益はスエーデンがこれを代表することゝなり、これに關し十二日左の如き外務當局談が發表された

外務當局談（十二日午後三時半）今般帝國と亞爾然丁國との國交斷絶の結果亞國における帝國の利益は瑞西國政府これを代表し又帝國における亞國の利益は瑞典國政府これを代表するに夫々決定せり

米對日通牒を發表

【リスボン十一日發同盟】ワシントン來電によれば米國務省は十一日米國政府が在米日本人に關する二つの通牒を日本政府に發したことは十二月十七日附で日本における米國の利益代表國たるスイス政府を通じて日本に傳達されたものだが、その內容は過般の米國政府のデマ發表と同樣に對する「不法行爲」なる聲明を並べて日本政府に[illegible]してその[illegible]

兩部隊長進級の榮

【東京電】光榮の感状上聞に達した山本重省大佐は昭和十八年一月二日附で陸軍少將に、山本常一少佐は同十七年十二月八日附で陸軍中佐にそれぞれ進級の榮譽に浴してゐる

兩部隊長略歷

【東京電】兩部隊長略歷

山本重省大佐　高知縣出身、大正三年陸士卒、同十四年陸大卒、昭和九年米國駐在武官補佐官、同十一年陸軍省整備局課員、その後大隊長、聯隊長を歷任、その後大隊

山本常一少佐　山口縣出身、廣島幼年學校卒業の際は成績優秀により東宮殿下より[illegible]を拜受した、大正十五年少尉に任官、昭和五年工兵學校[illegible]、同十四年陸軍[illegible]研究所員、その後陸軍兵器本部部員、同十六年[illegible]、同十七年五月現地軍司令部部員

國民貯蓄新目標額

三百六十億圓

決戰生活確立強く要望

情報局發表

【東京電】政府は昭和十九年度國民貯蓄目標額三百六十億圓を決定し十二日午後三時左の通り情報局から發表した

昭和十九年度國民貯蓄目標額は三百六十億圓と決定した、[illegible]

情報局發表（十二日午後三時）昭和十九年度國民貯蓄目標額に關する件、昭和十九年度國民貯蓄增加目標額は一百八十五億圓の外若干の企業整備に伴ふ不動資金吸收の要あるを以て三百六十億圓とす、[illegible]

一、昭和十九年度に於ては國民所得の[illegible]

昭和十三年度	八十億圓
十四年度	一百億圓
十五年度	一百二十億圓
十六年度	一百七十億圓
十七年度	二百三十億圓
十八年度	二百七十億圓
十九年度	三百六十億圓

飛行學校長に

服部少將發令

【東京電】陸軍省發表（二月十二日）今般左の通り發令されたり

陸軍少將　服部武士

補下志津陸軍飛行學校長

同　高野直滿

補大阪師團兵務部長

服部少將略歷

岡山縣出身、大正十五年陸大卒、各兵種部隊長、[illegible]行學校教官、在滿在支部隊長、同南方部隊長、航空局、航空技術研究所、遞信省等の要職を歷任

高野少將略歷

石川縣出身、弘前師團參謀長、在支部隊長、仙臺陸軍教導學校長、南方第一線部隊長、仙臺師團司令部附勤務等を歷任

電力第六段規制に協力要望

軍需省發表

【東京電】政府は電力需給の現況に鑑み新たに第六段規制の生産増強に與へる影響を考慮し部分これが實施を見送ることとなり十日左の如き要望を發表し官民消費節約に協力する[illegible]各方面の一段の協力を要望した

電力規制は既に第六段の規制にまで[illegible]に至つてゐるが、出來るだけ生產增強を遂げる方針で數く現狀維持のまゝこの間出來るだけ石炭その他の[illegible]を[illegible]するつもりである、工場での他需要者側においては電力消費の節約に力を入れて[illegible]以上の規制を來さぬやう協力して貰ひたい

英參謀次長警告

【ストックホルム九日發同盟】ロンドン來電＝英陸軍參謀次長中將ナイは九日ロンドンのマンション・ハウスにおいて演說を行ひ、英國人の[illegible]ゐる過度の樂觀的氣分を戒めて次の如く述べた

英國人の多くは戰爭について途方もない幻想に取り[illegible]てゐる、しかしこの考へは[illegible]で危險な錯覺である、吾々は戰爭の[illegible]との[illegible]に於て初めて困難な仕事が[illegible]を[illegible]してゐる事を[illegible]に忘れてはならぬ

ソ誌猛烈に米に反駁

【ストックホルム九日發同盟】米國務省はソ聯の國境問題は[illegible]に地方分權化を[illegible]と協力せずに勝手な[illegible]をタイムス紙その他で非難し、ニューヨーク[illegible]の[illegible]に[illegible]して、これに關しモスクワ[illegible]雑誌「戰爭と勞働階級」の最新號は米國の[illegible]を[illegible]、ソ聯の[illegible]の通り[illegible]してゐる[illegible]ソ聯の新[illegible]法はソ聯の利益を[illegible]するものでありバルト三國と[illegible]を強化しようと希望してゐるのである、米國の評[illegible]ないが、米國[illegible]はソ聯が[illegible]の[illegible]と[illegible]してゐるのは[illegible]イナ共和國の人口はフランスより多く、少いながらも白ロシア共和國の人口はベルギー、オランダ、ポルトガル乃至はスエーデンよりも多いことを忘れてゐる

人事

▲須田[illegible]民（[illegible]）[illegible]のため[illegible]

▲佐藤[illegible]近日上京

けふの官報

▲[illegible]令[illegible]▲[illegible]令▲[illegible]令中改正の件、[illegible]令中改正の件、[illegible]人[illegible]令中改正の件、[illegible]市[illegible]市町村[illegible]の件

腎臓疾患

危險なる尿毒症、高血壓に推賞せらる

病的蛋白の顯著なる減退は醫家の等しく承認せらるゝ所にして全國官公立病院指定御採用の榮譽を擔ふ

スルフアミン劑常用者の苦々しく顧みる可きなり

アルワチン

甘味なる服用容易の液劑

大日本製藥株式會社

三共株式會社

神經痛・ロイマチス劑

アトカルミン錠

大日本製藥株式會社

腸

全國官公立病院御採用品

乳酸菌製劑

エンテロノン

下痢、消化不良、腸カタル、便秘等

總べての腸胃諸疾患、特に乳幼兒の消化不良、綠色便に廣く賞用せらる

大日本製藥株式會社

化膿症に

スルファミン劑

ゲリゾン錠

アルバジル姉妹製品

本劑は既に官公立病院諸大學病院、大小病院等に於ける幾多の臨床的試驗例を有し

中耳炎

扁桃腺炎

面疔・瘭疽

婦人科化膿症

急性・慢性淋疾

等各種化膿症に對して內服による病原菌の發育阻止作用の顯著なること立證さる、特に品質精良、價格低廉なるは治療上の利點とせらる

【價格】二〇錠　五〇錠　一〇〇錠

山之內製藥株式會社

大阪・東京

大學目藥

マスヒノ　クヨキクリ

爽かな點し心地

速かな効め

紫外線を防いで

目を強く美しくします

トラホーム・結膜炎・かすみ目・やはり目・光線眼炎

社説

農村人口及び農地の確保

我國は、その總人口に對し國土狹小であつても、食糧事情は同じ諸國の英國などとは比較にならぬ程安全な狀態であつたが、それでも完全な自給自足をなし得るものでは無く、その一部は輸入に仰いでゐた。併し、現下の戰局に於ては、直接戰爭に戰爭力の大部分を割かねばならないので、食糧を國内で足らしむることは絶對の要請となつてゐる。

從つて、政府も之に就ては夙に食糧生産のため農村人口に一定限度の確保を期して[illegible]

[illegible]

必勝貯蓄の増強へ

庶民金融態勢を完備

けふ實施　市街地信用組合法

[illegible]に於ける庶民金融機構確立の一環として從來の市街地信用組合を改正し[illegible]

[illegible]

一、組合の責任組織は從來無限責任[illegible]

二、定款の作成の外に[illegible]

三、組合の業務として其の[illegible]

四、[illegible]

五、組合の理事人事の[illegible]

財務局長代理談

[illegible]

私鐵協議會理事會

[illegible]

大成火災總會

[illegible]

思ひ切つた獨逸の施策

通貨換算に新方策

對ギリシヤ通貨比率を改訂

ドイツとヨーロッパ諸國との經濟的[illegible]

對ギリシヤ通貨比率の改訂

[illegible]

適用の實際

[illegible]

新方式の效果

[illegible]

新比率と貿易

[illegible]

決戰を乘切る糖業界

—7—

考へられる肥料工業の開拓

糖業の戰鬪配置成る

食糧增産の實踐に期待

製造經營とも全面的に轉換

田代技師　[illegible]

大森工務部長　[illegible]

—出席者—

田代府技師、臺山支社長、大森工務部長、佐藤營業部長、久宗庶務部長、田邊調査役、古賀秘書、其他各氏、記者

肥料工業の開拓

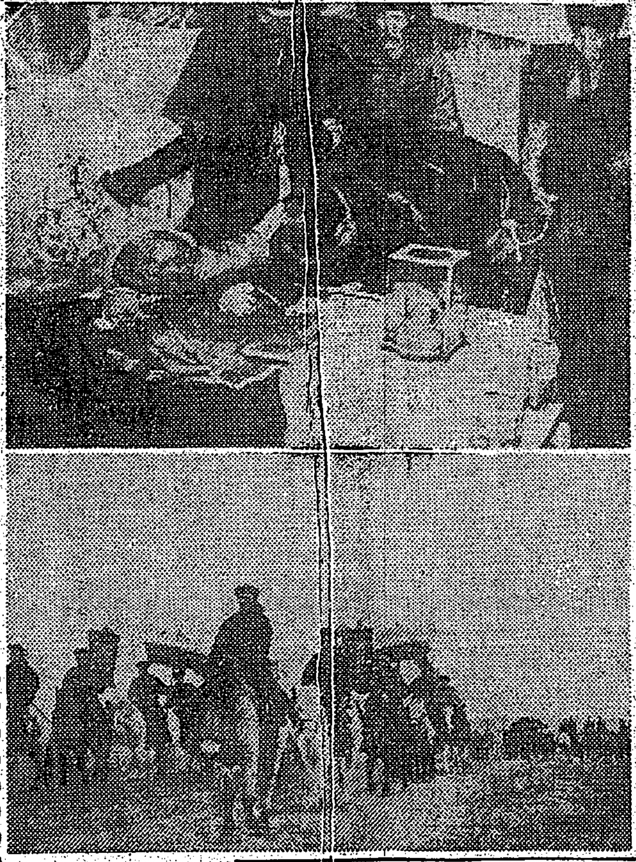
記者　[illegible]

大森工務部長　[illegible]

經驗技術を食糧增産へ

田代技師　[illegible]

[illegible]【日糖興業の巻終り】



葛根廟第七代活佛

假入山式擧行（滿洲）

[illegible]

自動車統制要綱を制定

陸上運輸交通機關の戰力化へ

[illegible]

統制要綱

[illegible]

登録生産增強新願

[illegible]

決戰生活

一食十錢食生活の提唱

[illegible]

貯蓄增强に即應した“報國貯蓄無盡”創始

臺灣勸業無盡で新生面開拓

[illegible]

養鷄兎品評會

[illegible]

水津臺銀頭取歸臺談

[illegible]

軍需資金に萬全措置

融資責任制を確立

軍需會社法の實施　戰力增强に期待大

[illegible]

潮州砂糖小賣商組合總會

[illegible]

ピッチコークス

[illegible]

電極

[illegible]

優良堆肥の增産へ

臺東廳・模範部落を設定

[illegible]

屏東市小賣市場賣店組合總會

[illegible]

地租早期完納

[illegible]

手形交換高

[illegible]

臺灣土地建物異動

[illegible]

市況（十二日）

兜町前場況

[illegible]

東京長期前場

[illegible]

東京長期總取組

[illegible]

建材界の福音
不燃性人造板（防火セメント・マグネシヤ板）
耐火度攝氏五百度內外
防火、防音、防暑外壁下地モルタル下地
ヘキキンタイト
厚サ四分・二寸、巾六尺四三尺
製造元　三德スレート商會

決戰貯蓄を乘り切らう
一日一億貯蓄せよ
賀屋藏相・銃後の努力、實踐を切望

【東京電話】賀屋藏相は十二日十九年度國民貯蓄目標額三百六十億圓決定に關し次の如き談話を發表した

昭和十九年度の國民貯蓄増加目標額は去る九日[illegible]された國民貯蓄奬勵委員會の答申に基き本日の閣議において三百六十億圓と決定された

一、今議會で成立した臨時軍事費豫算並びに一般會計等の豫算に伴ふ財源として昭和十九年度中に發行豫定の國債總額は約二百八十五億圓であり又十九年度の生産擴充資金は約六十億圓の見込である、故に兩者合計三百四十五億圓は十九年度の國民貯蓄の中から是非貯蓄せねばならぬ金額である、ところが十九年度には企業整備の關係で所謂生産の裏付のない放出資金が十八年度に引續き相當多額に上りそのうち特殊決濟によつて大部分は封鎖されるが殘額は現金で放出され浮動購買力となる慣れがある、依てこれを吸收する必要がある、その金額は

六億圓 と推定されることでこれを前記の三百四十五億圓に加へて大體三百五十億圓が一應昭和十九年度の貯蓄目標額と考へられるそれが何故三百六十億圓と増加したのかその理由は所謂一般の手持資金即ち各自の手許に置かれてゐる現金の吸收を目的として増加されたのである、これに關しては後程詳しく説明する

一、十九年度の貯蓄目標額を前年度に比較しても九十億圓の増加で支那事變勃發後最初の目標額即ち昭和十三年度のそれに比べれば實に四倍半となり容易な努力では到底出來ない、而してこれを達成する一つの重要なる前提は國民所得が昭和十九年度は昭和十八年度の五百億圓に比較して百億圓を増加し六百億圓となるところにあるこの百億圓の増加は何によつて得られるか、云ふまでもなく國民の勤勞の飛躍的増加によつて初めて可能となるのである、即ち十九年度は飛躍的の

航空機 の増産に加へて艦船の飛躍的増加と併せ進むべき戰力の飛躍的増加を圖らなければならない人口は急激には増さない、殊に勞務給源は前線に赴く勇士を送出せねばならぬから益々その狀況の下にあつて生産の大飛躍を成就しなければならない、壯年はもとより老人、子供、婦女も根かぎり働かねばならぬ、飛行機や船舶や兵器等軍需の生産に從事するものは勿論のこと、凡ゆる職域において根かぎり働かねばならない、働きを擧げれば生産額は増加し國民の所得は殖える、その根源は昭和十九年度五百[illegible]億圓の[illegible]の中に用意されてゐるのである

一、更に國民は極力その生活を切詰めなければならぬ、昭和十八年度においては國民生活消費資金は百三十億圓であつた、これが十九年度は百十五億圓と一割二分を切詰めなければならぬ、而して國民中には

切詰め の餘地の殆どない人も多數にある、從つて少しでも餘裕のある生活をなすものは[illegible]力生活費を節約しなければならぬ、百億の生産増加、所得増加があつても更に十五億の消費の切詰めがなければ國家資金計畫は實現出來ない、酒も煙草も菓子も燃料も凡ゆるものが節約されなければならぬ、その節約は皆戰爭生産力を増加し戰爭資金を増加することとなる、[illegible]ら餘裕のある生活をしてゐると思ふものは少いであらう、凡らゆる生活の切詰めが戰力増強の根源となる所以を知り、而して十九年度が決戰の年なることを知るならば多くの人はそこに必ずや消費切詰めの方途を發見せられるであらう

一、昭和十九年度國民貯蓄増加目標額の大幅増加に加へて臨時的の増税がある、昭和十八年度は國民の租税負擔と貯蓄増加所要額とを加へて三百七十億圓であつた、本年度は五百億に達する國民所得中四百八十五億は租税として納め又は貯蓄しなければならない、國民所得は八割以上となる、勤勞の増加も

消費の 節約も並々の決心では出來ない、然しそれが即ち決戰の年である、決戰的勤勞、決戰的生産の増加、決戰的消費の節約、決戰的貯蓄である、即ち決戰[illegible]である、政府も[illegible]である、[illegible]立法に行政に凡ゆる[illegible]と努力とを以て貯蓄し多く[illegible]を[illegible]するものである、しかしこれを實行するは國民そのものである一に一億國民[illegible]の努力と實踐を切望する

一、最後に貯蓄増加目標額が三百五十億圓から三百六十億圓に増加した理由に就て説明をする、昨年の後半期より通貨の膨脹は相當目立つて來てゐる、併しながらわが戰時經濟の基礎に動搖を來す如きものではない、けれどもかかる膨脹に對しては[illegible]においては常に[illegible]なる用意を以て警戒が[illegible]られなければならない、近時における通貨膨脹の理由は第一は臨時[illegible]の大増加である、第二は現金決濟の必要の増加から來る

通貨量 の増大である、第三は右以外の原因から來る手持資金の増加である、これは何に基くか、一つは空襲等の場合のことを考へて法人も個人も相當の手持現金を持たんとするところから來てゐる、しかし何といつても國民所得は非常なる増加であるから懷に金のあるに任せて金を[illegible]する[illegible]が少くなり大した理由もなく多額の現金を手許に置く向が多い[illegible]である、かくの如き手持現金の[illegible]は[illegible]浮動購買力化し甚しきはややもすれば闇取引の助長ともなる、進んでは空襲の際における金融機關の非常[illegible]に就ては既に對策は確立濟みである、政府は寧ろこれを一層強化する積りである、從つて手持現金を必要の最小限度に止めこれを預金することが一番安全確實で且國家の戰爭のためになることである、今後の手持資金の

吸收は これを目標として政府は生活必需品配給[illegible]その他によつて國民生活の確保を圖るとともに手持現金節約をも容易ならしめることに努める

"月八十五圓が五人家族の生活費です"
氏家國民貯蓄局長に聽く

【東京電話】昭和十九年度の國民貯蓄目標額は三百六十億と十二日情報局から發表されたがこの目標達成は決して容易ではない、それは國民生活の覺悟である、では貯蓄目標額三百六十億を中心に租税と國民消費資金とを睨み合せた來年度の國民生活のやり方はどうか以下決戰家計簿の前程となる諸點について氏家大藏省國民貯蓄局長と一問一答を試みよう

問 貯蓄や租税の増加に引きかへて來年度の國民消費資金は百十五億に切下げられたが、これで國民生活はやつて行けるか

答 決して心配ないと思ふ、來年度の國民消費資金は百十五億、一人一年で百五十五圓で足る勘定だが、實際には百四十億の租税中の消費税や印紙收入、煙草益金など百十五億中に含まれてゐない、更に國民所得中に含まれてゐない自家消費[illegible]約六十億[illegible]、[illegible]二十億[illegible]三十億と見てこれらを全部合計すると二百圓となり、一人當りの消費資金は平均二百圓と見ることが出來る、そこで五人家族なら一月の消費資金は約八十五圓位になる、この額は[illegible]即ち[illegible]も[illegible]も[illegible]平均であつて、それぞれの生活程度を考へれば多くは[illegible]わけではないが決して不足とは言へぬと思ふ、更に最近は[illegible]約[illegible]十億の通貨が九十億になり、七十億に膨脹したせいもあつて國民の一部にお金を大切にせぬものもある際だが、これなぞ惡性インフレを誘致する最も惡い傾向だから決戰下の家計簿は是非共消費資金の範圍に節して出來る限り浮動購買力の貯蓄に努力して貰ひ度い

問 三百六十億突破のための運動の計畫如何

答 二月下旬に各府縣ブロック別の内務部長會議を並に三月中旬に[illegible]府縣貯蓄奬勵委員長會議を開いて速かに貯蓄奬勵の具體策を決定する、然し國民に特に注意して貰ひ度いのは「貯蓄を強要してまで貯蓄する必要はない」とゆふ考へ方を絶對に捨てねばならぬ點だ、來年度の國民所得が、六百億だと言つてもこれは[illegible]んでゐて出來る譯ではない、まして樂な心掛けでは決してこの巨大な額は突破し得ない、[illegible]は[illegible]して[illegible]ない、出征し或は應徴して勤務を擧げるのと少しも變らない、貯蓄は[illegible]に「[illegible]」なのである、目標だけの貯蓄が出來なければ[illegible]由々しき一大事だ、この考へを國民がよく腑つて下さることが貯蓄運動の最上策だ

"島都の皆さん御安心下さい"
蔬菜の出荷は上々
配給第一日・市長さんも視察督勵

愈々今日から島都に蔬菜の配給が實施される事になつた、闇取引や買溜買漁を抹殺して安定した食生活の再出發を期するための新しき發足の日だ、午前十時宮谷市長は佐々木文書課長、友田配給課長を隨へて中央市場へ出向き配給第一日の視察督勵を行つた

今日の配給物は玉菜、大根、オバケナツペ、人參、ニンニク等十四萬斤が山とつまれそれが手際よく區分されて行くのを見て"これは上手に行く、第一日としては好成績だ"と滿足の言葉を殘し約一時間半の視察督勵を終り同十一時半頃市役所に歸つたが

午後一時頃再び宮谷市長は佐々木、友田兩課長を隨へて西門市場に至り配給狀況を視察視察ののちそれより車を馳せて各市場に至り市場における配給狀況を視察、ついで店舖また行商人の販賣狀況を視察したが、配給第一日としては豫想外の好成績であつた、視察後市長は次の如く語つた

第一日としては豫想外にうまく行つてゐる、今日の配給量は十四萬斤も一日平均の配給量よりぐつと多く市内消費者へ相當多量に配給が出來る事と思ふ、現在は蔬菜の出荷率が相當多く消費者は大いに安心して頂きたい、今日の販賣は行商人の出發は午後二時頃となつたがこれは消費者に少しでも良い蔬菜を與へやうとする業者の選別に手間が掛つたのであるから諒解して欲しい、販賣人の出動率も二人缺勤しただけで非常に好成績だ何を言つても大改革の事であるから當分の間色々と不十分の點があると思ふが、これがうまく行けば良い品物が今迄よりぐつと安く市民全般に平均にゆき渡るのであるから銃後の國民として不平は言はず大いに協力して欲しい（寫眞は宮谷市長の配給所視察）

奉公防空群の指導に挺身
中林老の敢鬪

[illegible]の頭髮を綠に染めて[illegible]んだが、昔に劣らぬ老武者の意氣を昭和の聖代に傳へる奉公班長、臺北市古亭町第二區隊[illegible]班長の中林牧吉さん（[illegible]）は日夜前線に[illegible]聖戰完遂に身命を[illegible]する島[illegible]將士の勞苦に[illegible]、いま、この時こそ老骨の[illegible]と[illegible]班長として[illegible]一人で三人分の働きをとばかり多忙な[illegible]の傍ら[illegible]を[illegible]とも[illegible]、每夜十一時過ぎまで[illegible]内各奉公班を[illegible]、萬一の場合に[illegible]すべく[illegible]の[illegible]、並に[illegible]を指導する熱心振りに、各班員は氏のこの[illegible]にいたく[illegible]、[illegible]に迎れを[illegible]るなど[illegible]つてゐる

恩命に輝く忠魂を偲ぶ
銃後一億に遺す警鐘
"お祭り騒ぎにならないことを……"
柴崎中將・最後の"ギルバート便り"

【東京電話】ギルバート玉碎部隊長故柴崎中將に有難き恩命が傳へられた十二日東京都世田ヶ谷區松原町二[illegible]、故中將宅を訪へば未亡人[illegible]さん（[illegible]）は[illegible]山水高等女學校一年生[illegible]子さん（[illegible]）[illegible]二子を育くむ[illegible]七人（[illegible]）[illegible]は[illegible]中將遺族の[illegible]に"[illegible]方の[illegible]も[illegible]ないのに[illegible]のみが[illegible]のは[illegible]に[illegible]苦しい氣が致します"と[illegible]少なく語るのであつた、この[illegible]から[illegible]られた[illegible]

か、いちく[illegible]のしようもなく申譯ない[illegible]と思ひます、つい先頃現地から出した[illegible]の手紙が[illegible]されまして今も[illegible]んで居りましたところですが"と[illegible]生々しく[illegible]見せてくれた、[illegible]にあつて[illegible]中將が[illegible]に[illegible]しては一行たりとも[illegible]只々[illegible]を[illegible]んで[illegible]ることを[illegible]、この便りは[illegible]に[illegible]隊の[illegible]一[illegible]の十一月十一日の[illegible]月の夜に[illegible]れたものである

わが[illegible]兵一同の士氣は[illegible]にして任務遂行に邁進しつつあり兩方での[illegible]の大[illegible]は[illegible]出度い限りです、この[illegible]を[illegible]めるまでの[illegible]は[illegible]ません、[illegible]の方々の[illegible]子もラジオにて承知して居ります[illegible]があまりお祭り騒ぎにならない[illegible]を[illegible]致します、[illegible]め[illegible]日本人の[illegible]を[illegible]すると[illegible]して居ります

[illegible]一[illegible]して一歩一歩[illegible]に邁進せねばならぬと信じて居ります（中略）本日が[illegible]月です、夜分の方が[illegible]ですがもう[illegible]も[illegible]れて[illegible]がこないと[illegible]しい[illegible]です匆々

十一月十二日

[illegible]大な[illegible]と[illegible]力に[illegible]せて[illegible]が[illegible]石作[illegible]により[illegible]が今やわが[illegible]土内に及ぶ時[illegible]中將のギルバート便りは一未亡人に宛てたではなくわれ等一億に[illegible]する[illegible]であり、[illegible]心の[illegible]方から[illegible]に呼びかける[illegible]この[illegible]にわれ等は果して[illegible]ひつつあるかを自省し[illegible]を[illegible]することこそこのギルバート便りの[illegible]でなければならない

豪膽・水雷魂の精髓
早川少將・佐藤中將を語る

【東京電話】佐藤[illegible]中將の兵學校時代の同期生早川[illegible]少將は左の如く語つた

[illegible]中將は大東亞戰[illegible]

されるまで[illegible]として長い[illegible]たたき上げた我が[illegible]の[illegible]を[illegible]して不俱戴天の[illegible]米英を[illegible]の折れるまで斬つて斬つて斬りまくり、そして最後には沈み行く[illegible]より[illegible]下全部を[illegible]せしめ自らは[illegible]下のすすめも[illegible]して[illegible]を[illegible]れる[illegible]の[illegible]を打ちかけてこれを[illegible]りつつ[illegible]の[illegible]のままで[illegible]の[illegible]く[illegible]、共に沈んで行かれたのである、[illegible]時代はブルドック[illegible]は[illegible]の[illegible]では[illegible]でなく[illegible]、少[illegible]から今日まで中將[illegible]せた、[illegible]まく[illegible]の中で[illegible]上げた生[illegible]、[illegible]の[illegible]水雷魂の[illegible]は中將の[illegible]にブルドック[illegible]の中將は水雷[illegible]における[illegible]の[illegible]を[illegible]上[illegible]二十七[illegible]最先頭を切つて[illegible]つた中將は[illegible]のものであつた、スラバヤ[illegible]で中將は[illegible]を[illegible]く突入して[illegible]は大[illegible]を[illegible]ひつつも中將で

"武人らしい最期"
感激の安田中將未亡人語る

【東京電話】安田[illegible]中將の[illegible]を[illegible]に[illegible]には[illegible]の[illegible]代には[illegible]の[illegible]した[illegible]人であつた、[illegible]に言[illegible]

"木の箱で歸還する"
歌人部隊長山本常一中佐

【[illegible]】大東亞戰[illegible]の昭和十七年八月[illegible]ニューギニア[illegible]に於て「[illegible]」と[illegible]した[illegible]

東條首相に激勵慰問の一書
盛禪和尚から

【[illegible]】[illegible]

決戰の空へ"愛國汕頭號"
獻機運動の決意更に固む居留民

【汕頭支局特電十一日發】既に[illegible]號、[illegible]二號、[illegible]一號を獻納、それぞれ命名式をすませ愛國の熱誠に[illegible]たる汕頭在留邦人は今回又先に[illegible]せる[illegible]一機の命名式を十日十八時より飛行場で盛大に擧行した

[illegible]側から[illegible]大臣代理〇〇部隊長、[illegible]、各部隊長、[illegible]代理[illegible]以下主なる[illegible]民多數參列

[illegible]式[illegible]上の[illegible]行はれ[illegible]大臣よりそれぞれ[illegible]

[illegible]號と命名、[illegible]居留民代表に授與したのち〇〇部隊長[illegible]として現下の[illegible]な[illegible]戰の[illegible]に[illegible]

[illegible]に[illegible]ふ[illegible]ものであつた、[illegible]の[illegible]を[illegible]させた、[illegible]が行はれ、[illegible]の男子により[illegible]

獻機運動へ
空への關心昂る廣東

【廣東支局發】去る一月十一日[illegible]

齋藤總務長官伊勢神宮參拜

【東京支局特電】[illegible]中の齋藤總務長官は[illegible]に[illegible]ので近く歸臺の豫定であるが十二日東京[illegible]、[illegible]同伊勢神宮に正式參拜の[illegible]した、[illegible]十四日朝歸京の豫定である

飛行機樺山號
樺山町區會から八萬圓獻納決定

[illegible]樺山町區會では何か[illegible]から[illegible]とい[illegible]正月元旦から[illegible]

研究奬學資金
臺北帝大へ贈る

[illegible]

南支に甦る明朗色

石合戰の奇習も復活
新中國を謳歌する廣東民衆

【廣東支局發】去る一月二十五日中國人にとつては樂しい舊正（[illegible]）のお正月が明けたがこの[illegible]のお正月に因んで廣東市の近郊で一年の[illegible]を[illegible]ふ[illegible]の一寸[illegible]を見ない[illegible]、石合戰（[illegible]）[illegible]石又は打[illegible]といふ）の行はれてゐる[illegible]が今度初めて一般日本人にも明かにされた、それといふのも由來

年代こそ 文獻もないので正確にはされてゐないが既に數百年來續けられて來た風習であつたものが支那事變の勃發に[illegible]入城によつて中[illegible]されてゐたのが昨年からやうやく復活し今度の正月で[illegible]と少しも[illegible]らす盛大且つ勇壯に合戰が行はれたからに[illegible]るものである、場所は[illegible]州市の西方佛山市との中間にある[illegible]

大瀝墟で 舊正元旦から四日迄近郊近在の部落民が集つて[illegible]に組を分けるでもなく指導者をきめるでもなく自然に甲乙[illegible]くつてほんものの[illegible]瓦かけや石ころを投げ合ひする[illegible]はじめは子供の石投げから次第に[illegible]年や老人まで我れ勝ちにとびこんで[illegible]ひに[illegible]ひ追はれつ、形[illegible]不[illegible]た[illegible]には加勢がとびこんだり、[illegible]をならして[illegible]を添へたり

猛烈果敢 に[illegible]するので[illegible]あつて勿論負傷者は[illegible]出するがそれも[illegible]地の大[illegible]（[illegible]）にれず、[illegible]されたまま[illegible]たかつて死者は一人も出したことがないとか、親子兄弟が敵味方になつてもまた[illegible]をしても石合戰がすめば[illegible]、いささかの[illegible]みものこさないばかりかこの行[illegible]をやらねばその年の[illegible]は不作と信ぜられてゐるのであるから[illegible]である、かつて

土匪襲來 の時[illegible]民[illegible]

石してこれを防いだ遺風であるといはれ、また[illegible]が[illegible]つた[illegible]に[illegible]した風習が[illegible]化したものであるとも傳へられ、其他これにからまる[illegible]話の數々が語り草となつてゐるが[illegible]年前には[illegible]時あつたイギリス[illegible]が[illegible]に[illegible]つて一石が[illegible]つたのを[illegible]められて全民衆が[illegible]しとうくその[illegible]を[illegible]々に[illegible]してしまつたさうで

米英擊滅 の決戰最中この[illegible]こそと[illegible]させるものがある去る二十七日の舊正三日目[illegible]の[illegible]最高指揮官以下[illegible]首腦部もわざく同地に立ち寄りまた[illegible]部長、[illegible]長以下も出向いて[illegible]の石合戰を[illegible]して民衆を大いに[illegible]させた、今此處で我々が[illegible]へねばならぬことはこの石合戰の奇習を[illegible]に[illegible]するだけのことではない、一時中[illegible]されてゐた風習が何故本年急に[illegible]やかに復活されたかと云ふことである、[illegible]はこの

石合戰 ばかりではなく本年の舊正そのものにある、[illegible]後七年目、本年[illegible]民衆が心から[illegible]しい舊正を迎へた年はないさうである、[illegible]たる小春日和[illegible]の咲き初めた市街を歩く人々の[illegible]は美しく[illegible]は明れやかであり、[illegible]はじめ目抜きの[illegible]りは文字通りの[illegible]である日本人がそれを感ずるだけでなく中國人自身が語るのだ、要は一つつ全中國人が自覺してゐるとみないとに[illegible]らず中國[illegible]

日華同盟

[illegible]が自然に何が[illegible]しの大きな[illegible]をつくつて[illegible]によるものに違ひない、日本人に與へられた[illegible]の一つ、新中國[illegible]後にみられた[illegible]の[illegible]に[illegible]上昇[illegible]へ[illegible]の[illegible]を我々は[illegible]大[illegible]の石合戰から[illegible]ひ出すことが出來るかもしれない

思想謀略に勝拔く
きのふ・防諜聯盟連絡會議

[illegible]の目的へ[illegible]べく十二日午後一時より[illegible]に於て[illegible]より土井[illegible]、各[illegible]より[illegible]が出席して左の[illegible]につき打合を行つた

一、防諜[illegible]　二、[illegible]　三、[illegible]　四、[illegible]　五、[illegible]　六、[illegible]

北海道製糖の
支配權明糖へ

【東京支社特電】明治製糖では今般北海道興農公社の[illegible]により北海道製糖（資本金五百萬圓四十萬株）に[illegible]する大日本製糖の所有株（[illegible]の約三分の一）全部を肩代りすることになり九日調印を了した、之により明治製糖が北海道製糖の支配權を握る事になつた譯である

列車常會は好成績

[illegible]

督府人事異動

[illegible]

基隆市民の赤誠

[illegible]

戰爭保險
戰爭死亡傷害保險
取扱
日新火災海上
本社　東京都麴町區丸ノ内三ノ一九
臺北出張所

防空協會臺灣本部
職員募集
一、書記及男女雇員若干名ヲ募集ス
二、待遇　年齡經歷ニ應ジ優遇ス
三、申込　自筆履歷書送付セラレ度シ
四、締切（二月二十日迄）
臺灣總督府警務局防空課内
大日本防空協會臺灣本部
設立事務所

第四十七回決算公告
臺灣織物會社

債權申出催告
新埔茶業會社

株式名義書換停止
華南商行

臺日案內
技術　女事務員　女事務員　電話　看護婦　帳場　見習　女子　男女　菓子　配達　賣家　電話　投資　大猫　レントゲン　アルゼンカメラ　ラジオとレコード　レコード　ラジオ　ピアノ、オルガン　引越　引越　陸上　引越　のせ　冷藏　斷食　特許　結婚

父吉三郎儀病氣療養中ノ處養生不相叶二月十日午前九時四十一分死去仕候
男 橫見弘次
邦

母米澤アイ儀大阪帝大附屬病院ニ入院加療中ノ處藥石效無ク八日午後二時永眠仕候間茲ニ生前ノ御厚誼ヲ深謝シ謹ミテ御通知申上候
男 米澤正勝
米澤鹿之助
宮本孝
菊池爲雄
石橋余吉
小山久吉
中田くに
川崎京次郎
中林喜政
吉越隆一

決戰下ノ必要資材ハ精々竹ヲ御利用下サイ
鑛山、水產業用、出荷包裝用、廚房用等缺クベカラザル各種ノ竹製品ヲ供給致シマス
大和產業公司

稅務 企業 財務 會計
計理士 商學士
海野正造

父良雄儀病氣加療中ノ處養生不相叶十一日午後九時三十分死亡仕候條此段御通知申上候
追而葬儀ハ十三日午後三時老松町東本願寺ニ於テ告別式相營可申候
昭和十九年二月十二日
古賀良一
古賀チヨ
古賀豐吉
甲木熊吉
森田俊介
郡茂德

當區會長有馬彥二殿今般御逝去被遊候ニ付テハ當區會葬ノ禮ヲ以テ二月十三日午後二時新起町西本願寺樹心會館ニ於テ相營可申此段謹告候也
昭和十九年二月十二日
臺北市若竹町區會

父有馬彥二儀心臟麻痺ニテ二月十一日午後三時死去致候ニ付テハ生前ノ御厚誼ヲ拜謝シ御通知ニ代ヘ此段謹告仕候
時局柄香奠及御供物等ハ勝手乍ラ堅ク御辭退申上候
昭和十九年二月十二日
臺北市若竹町二ノ四
有馬輝彥
有馬正輝
有馬ムメ
親戚友人一同

父黃金石儀老衰ノ爲享年七十三歲ヲ以テ二月十二日死去致候間此段及謹告候也
[illegible]

當支部長黃金石殿病氣療養中ノ處藥石其ノ效無ク十二日逝去致候間生前ノ御厚誼ヲ拜謝シ此段謹告仕候
昭和十九年二月十三日
臺北州纖維製品小賣業組合
淡水郡支部

夫原高明儀花蓮港出張中急病ニテ二月九日午後十時永眠仕候間生前ノ御高誼ヲ深謝シ茲ニ謹ミテ御通知申上候
[illegible]
原千枝子
岡田敬次
鶴田喜馬
鶴川代雄
深川末治
友枝繁臣
南星史久
大原重美
花房清
村岡組組員一同

會葬御禮
眞志田逸良

實践協力會議員發令

全島の皇民奉公會では決戰への邁進の萬全を期するため十一日の紀元の佳節に當り夫々實践協力會議員の發令を行ひ選んで左の通り發表した

臺北州支部

[illegible]

新竹州支部

家村華人、板倉留三馬、生駒弘

臺中市支會

△選考委員（イロハ順）石川治助、今井昌治、白尾顯、武田駒吉、池田寛平、勝田正毅、巫永昌、那茂兜、許捷、安維院

高雄州支部

伊藤康博、泉正敏、石崎潤身 [illegible]

豊原郡支會

[illegible]

臺中州支部

[illegible]

嘉義市支會

[illegible]

女性皆働の道廣し

男子轉進可能者千二百

【嘉義電話】決戰の戰列にたんとする女性の職場は嘉義市では既に内地で實施された男子就業禁止令の第一類禁止職種に就き各職場に付男子の生産面へ轉進可能者を調査した所店員男子の三百十六名を筆頭に總計一千二百七十九名を下らぬ事が判明した右轉進に依り女子の就業を期待される主なる職種を上げると次の通りである

事務補助者二百四十六名、小使、給仕、受付百九十二名、食堂給仕人百二十三名、注文取七十三名、料理人七十五名、理髪師百十二名、バス車掌五十四名、現金出納係二十七名、番頭、客引二十四名

遠隔の地から參加

日婦國防訓練査閱好評

【大湖】新竹州大湖郡大湖庄に於ける大日本婦人會庄の國防訓練査閲は既報中のところ、九日午前十時から大湖庄國民學校校庭に於て州より[illegible]支部長以下係部、郡より園田支會長以下多數官民參列の下に定刻國民行事に次いで會旨奉讀、服裝點檢、出席人員報告を經つて訓練に入り[illegible]してから分列行進、會歌合唱、續いて講評をなして同日午後一時頃[illegible]に終了したが、此の日大湖庄下の會員八十名及部下四、五里の道を遠しとせずして[illegible]

奉壯連絡委員會

【宜蘭】宜蘭を皮切りに全廳二十三箇所に亘つて開催される宜蘭奉公壯年團連絡委員會はその第一回を十一日紀元節の佳き日午後一時より宜蘭郡役所本部樓上に開催、本部から[illegible]、永井[illegible]州支部から石川主事宜蘭郡支會長代理參事[illegible]、頭圍、[illegible]、員山、五結、三星、冬山、蘇澳の各市街庄壯年團の團長、連絡委員出席國民儀禮につづいて開催地の宜蘭市長の司會の下に自己紹介をなし永井總務より連絡委員會の説明があつて懇談に移つたが奉壯運動の動向、連絡委員の任務、活動の在り方其他に就て意見の交換並に相互の親睦など活潑に展開の役割一市三郡が交互に世話役となり年四回の連絡委員會を開催すること奉壯團員は相互に親睦を密かにすることなどの申合せをなし四時散會した

國語常用家庭選奬

【臺中】臺中州では十一日の紀元の佳辰をトし恒例に依り國語競技[illegible]の優良國語常用家庭を選奬したが今年は七百九十一戸で前年に比し四十七戸減で今年の認定で州下の國語常用家庭は一萬三百十五戸となつた、各市郡部左の如し

△臺中市一一△彰化市八一△大甲部三六△員林部三六△東勢部四二△大甲部六〇△彰化部四七△員林部一三〇△北斗部一七四△南投部六〇△新高部一〇△能高部一〇△竹山部ナシ

優良奉公防空群表彰式

【羅東】羅東郡では[illegible]部下各街庄奉公防空群に對し訓練資材その他に就き審査を行つたが家庭防空の模範として十七群を選拔し十一日紀元節の佳日をトし午前十時半から郡役所會議室で優良奉公防空群表彰式を盛大に舉行した各街庄長[illegible]の臨席し先づ國民儀禮次に表彰状の授與大串郡守の訓示あつて盛況裡に閉式した、被表彰群長の氏名次の通りである（敬稱略）

△羅東街　山口仙助、[illegible]

△五結庄　[illegible]

△三星庄　[illegible]

△冬山庄　徐水定

美しの緑の島々

緑化事業の耕地防風林

[illegible]

醫師、藥劑師總動員

空襲へ、水も洩さぬ布陣

[illegible]

高雄の功勞者杉本氏十七回忌

【高雄電話】高雄港[illegible]の功勞者杉本音吉翁逝いて十七回忌に當るので同家では十[illegible]

伊藤遞信部長來南

【臺南電話】伊藤遞信部長は十二[illegible]

青年の生命は感激

徵兵趣旨徹底辯論大會

【新竹】[illegible]

羅東桔梗クラブ結成

【羅東】[illegible]

産業戰士の殊勳甲

勤勞章を授られた人々

【臺南】臺南州では[illegible]なる決戰下產業戰士として[illegible]の名譽に輝く[illegible]十一日紀元節の佳日をトし宮尾知事より產業戰士最高の名譽たる勤勞章を授與しその功を[illegible]

△[illegible]

女子青年及歸還看護助手講習會

【宜蘭】皇民奉公會臺北州支部主催の女子青年及歸還看護助手講習會を州下全般に[illegible]中だが[illegible]一市三郡の其は十二日から三日間宜[illegible]

軍用鳩協會臺中支部結成式

【彰化】大日本軍用鳩協會臺中州支部結成式は十一日午後三時から彰化郡[illegible]で[illegible]高[illegible]氏其他[illegible]名列席の下に[illegible]行された、先づ國民儀禮に次で[illegible]

御内帑金を御下賜

新店社會事業助成會へ

【新店】[illegible]

木瓜新使命の登場（下）

豊富なる成分と栽培法

（四）收穫について

[illegible]

五、管理について

[illegible]

六、ペペイン採集について

[illegible]

七、利用について

パパヤ漬物

[illegible]

パパヤ詐物

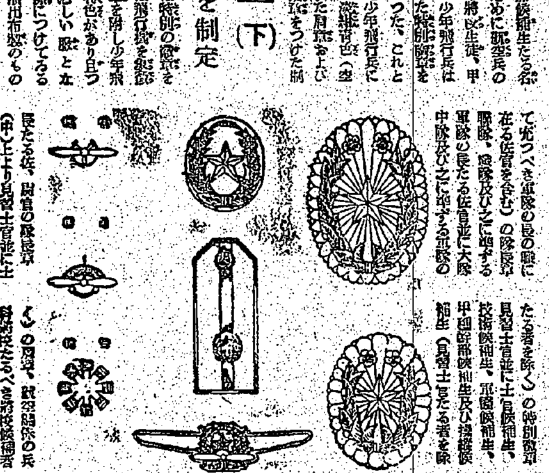
[illegible]

パパヤソース

[illegible]

切り乾し

[illegible]



軍事知識

陸軍服制の改正（下）

襟章、袖章、隊長章を制定

[illegible]

航空機の血液

蓖麻種子は一刻も早く

收穫しないと惡くなります

【臺中】[illegible]

轉廢業者助成會

十二日發會式を行ふ

[illegible]

改良豚舍築造

增産へ飛躍的發足

[illegible]

一錢獻金勵行

[illegible]

東寶小賣人の國語演習會

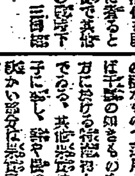
[illegible]

第一放送

[illegible]

第二放送

[illegible]



僕もなりたい少年兵！

陸海軍志願

通信指導會

東京牛込區市谷台町六　日本軍事教育會

今日の映畫

大世界　臺灣劇場　新世界　芳乃館　芳明館　國際　萬華　大平館　第三世界

[illegible]

新作の映畫

[illegible]

内科　吉田内科醫院

小兒科　内科　南風原病院

齒科　須永醫院

齒科　高嶺醫院

齒科　澤熊醫院

火花を散らす工員魂を描く增産譜！

勝鬨音頭

松竹大作